



# 防災研修会&炊き出し訓練

地域を学ぶ	—	地域でつながる	●	地域に還す	—
-------	---	---------	---	-------	---

## 1 学習プログラムの展開



日程	場所	学習内容
平成 30 年 10 月 31 日 (水) 18:30~21:00	口和自治 振興セン ター	<p>○「DIG」図上訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①グループリーダー, 発表者の決定 (自治会ごと)</li> <li>②地図上にあるものを書き込む (青: 川, 茶: 主要道路, 緑: 学校等)</li> <li>③防犯拠点にカラーラベルを貼る (青: 消防署, 赤: 警察, 緑: 避難所等)</li> <li>④知っている防災情報や「防災まち歩き」で見つけたものを記入する (緑: 安全な施設, 青: 災害時に役立つ場所, 赤: 危険な場所等)</li> <li>⑤避難場所までの経路を記入する。</li> <li>⑥発表 (3 班)</li> <li>⑦防災, 災害対応の視点から見て, 自分達の住む地域の特徴を記入する。</li> <li>⑧土砂災害ハザードマップで色分けする (黄: 土砂災害危険区域, 赤: 特別警戒区域等)</li> <li>⑨発表 (3 班)</li> <li>⑩災害を想定</li> <li>⑪想定した災害が発生した場合の対応の仕方を話し合う (被害想定, 事前準備等)</li> <li>⑫発表 (3 班)</li> <li>⑬講師の評価と座学 (行政による避難情報と求められる行動について等)</li> </ul> <p>※防災グッズや非常食の展示, 炊き出し (女性部)</p>



対象	自治会役員, 消防団, 72 人
経費	講師謝金: 0 円 (県の危機管理課職員のため)
連携先	庄原市社会福祉協議会 口和地域センター, 口和自治振興区 女性部 庄原市消防団 口和方面隊, 庄原警察署 口和駐在所

問  
合  
せ  
先

庄原市口和自治振興センター

庄原市口和町向泉 934-4

電話 0824-87-2213 ファクシミリ 0824-87-2135

## 2 講座設定の理由（学習の目的）

○住民自らが居住地の危険個所を熟知すると共に、地域コミュニティの強化を図り、防災、減災に地域を上げて活動し、災害発生時には、速やかな避難や命を守るための対応が行えるようにする。

※DIG（ディグ）は、参加者が地図を使って防災対策を検討する訓練です。Disaster（災害）、Imagination（想像力）、Game（ゲーム）の頭文字を取って命名されました。

## 3 学習目標

○地域の危険個所や防災拠点等について知る。

○防災について住民自らが自分のこととして考え、「自助」「共助」の意識を高める。

## 4 事前に必要な知識や準備物

○防災グッズ、非常食

○町内地図（A1サイズ）、 ○防災マップ

○シール、マジック、ビニールシート（地図上のからマジックで書くため）等

## 5 留意点

○防災に関する一般的な話ではなく、具体的な話ができるようにする。（高齢者や危険個所が多い地形に対応）

○参加者が考えた避難方法を生かせるようにする。

## 6 成果

○防災意識を高めるところができた。（災害時には、どこのエリアが危険であって避難する際には何に気をつけなければいいか知ることができた）

○どこにどのように避難するか具体的な話し合いができ、共通認識を図ることができた。

○テレビの取材もあり、研修の様子を広く広報することができた。

○防災啓発ビデオ（自主防災組織立ち上げ）を作成し、今後立ち上げの可能性のある自治会に見てもらった。

○災害用伝言ダイヤル疑似体験ビデオを作成し、他の研修でも利用することができた。

○防火、防災に伴い地震対策のビデオも作成した。

## 7 課題

○福祉避難所の確保（要介護者への対応、町内の福祉施設との提携）

○自治会の役員の高齢化、固定化による業務の負担感

○研修の設定時間が限られており（夜2～3時間）、できる内容が限られてくる。

## 8 今後につけ

○自治会の会議等の機会がある度に防災の話（防災啓発ビデオ）をすると共に、ビデオの貸し出し等も行い、広く周知していく。

○避難所の運営訓練を行うことで自主防災組織のイメージをつくる。

○「公助」には限界があり、「自助」「共助」による補完体制を整備していく。